



ID: 1410

科目名	介護福祉【26年度生用】			コード			
英語表記	Care and welfare						
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	後期		単位数	2	
授業形態	講義	授業形式			履修形態	選択	
授業概要							
この講義では、介護保険制度下における高齢者への支援とその家族への支援のあり方について考察し、介護の基本理念等を踏まえたうえで、高齢者に対し専門職として倫理観をもって、向き合う姿勢や技法を身に着けることを目的とした講義とする。							
到達目標							
・介護保険制度における組織・団体の役割や専門職の役割とその現状について理解する。・介護の概念、対象、理念にいて理解する。・介護過程の概要を学ぶことで介護の技法を理解する。・要介護者にとって必要な身体的、精神的、社会的支援のあり方とその実際について理解する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 高齢者と家族支援Ⅰ ～本講義についての説明・高齢者の介護需要と家族がもつ諸問題～						
第2回	高齢者と家族支援Ⅱ ～介護保険制度における組織及び団体の役割と実際～						
第3回	高齢者と家族支援Ⅲ ～介護保険制度における専門職の役割と実際～						
第4回	高齢者と家族支援Ⅳ ～介護保険制度下でのケアマネジメント～						
第5回	高齢者と家族支援Ⅴ ～介護保険制度におけるネットワーキングと実際～						
第6回	高齢者と家族支援Ⅵ ～地域包括支援センターの役割と実際～						
第7回	高齢者と家族支援Ⅶ ～高齢者虐待防止法と権利擁護～						
第8回	高齢者と家族支援Ⅷ ～高齢者と家族支援についての全体的まとめ～						
第9回	介護の概念 ～介護の概念及び対象の理解と自立支援～						
第10回	介護予防 ～介護予防の必要性とその実際～						
第11回	介護過程 ～介護過程の意義と介護の技法～						
第12回	認知症ケア ～認知症の実態とケアの実際～						
第13回	終末期ケア ～終末期ケアの基本的考え方と倫理観～						
第14回	介護と住環境 ～要介護者のための住環境整備～						
第15回	高齢者とバリアフリー ～「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「高齢者の居住の安定確保に関する法律」～						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
毎回、小テストを行う。出席回数が3分の2に満たない者については、期末試験の受験を認めない。評価項目に授業態度を除外しており、積極的な質問は受け付けるが、注意すべき態度は受け付けない。大学生として相応しい態度で受講することを前提とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					10%	60%	30%
授業外学習			テキスト、教材				
			新・社会福祉士養成講座第13巻「高齢者に対する支援と介護保険制度(第3版)」中央法規出版				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業の中で適宜紹介する。			社会福祉士指定科目であるため国家試験受験を予定している人は必ず履修すること。				
キーワード							
介護保険制度 介護予防 介護過程 認知症 終末期ケア							